令和７年度

海上保安庁関係予算配分概要

目　　次

Ⅰ．令和７年度海上保安庁関係予算配分方針・・・・・・・・・・・・・・・・1

Ⅱ．令和７年度予算配分総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Ⅲ．事業別概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅳ．管区海上保安本部等別配分額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅴ．配分箇所の具体事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

令和７年４月

Ⅰ．令和７年度海上保安庁関係予算配分方針

令和７年度船舶交通安全基盤整備事業については、「経済財政運営と改革の基本方針2024」等の政府が掲げる基本的施策の考え方に沿った事業等に重点的に配分する。

Ⅱ．令和７年度予算配分総括表

［総事業費］　（単位：百万円）

令和７年度 配分額	直轄		合計	
	本省配分	計	本省配分	計
船舶交通安全基盤整備事業	24,372	24,372	24,372	24,372

Ⅲ．事業別概要　　429箇所　　事業費　24,372百万円

○海上保安能力の強化

【巡視船艇基地等の整備】

海上保安能力強化に伴う巡視船艇基地等の整備を実施する。

【巡視船艇等の代替整備】

巡視船艇等の老朽化に伴い代替整備する。

【巡視船艇等の運航】

巡視船艇等の運航に必要な維持管理を実施する。

○防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策の推進

【航路標識の耐災害性強化対策】

航路標識の耐災害性強化対策を図り、船舶交通の安全を確保するための対策を講じる。

＜海水浸入防止対策＞

基礎部亀裂補修
（環境遮断）

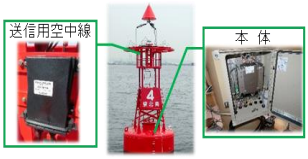
＜電源喪失対策＞

太陽電池化　　蓄電池の増設

＜信頼性向上対策＞

耐波浪型LED灯器の整備

＜監視体制強化対策＞

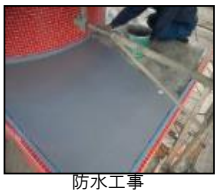


クラウド監視装置の導入

【航路標識の老朽化等対策】

航路標識の倒壊、損壊等に備えるため、長寿命化の整備を着実に実施する。

外壁補修



防水工事

建物及び基礎の補強

構造的弱部を補強

○航路標識の適切な維持管理

船舶交通の安全を確保し、運航能率の増進を図るため、灯浮標やレーダー回転機構部の定期交換など、適切な維持管理を実施する。

◎灯浮標の定期交換

〈灯浮標の引揚げ〉

〈灯浮標の設置〉

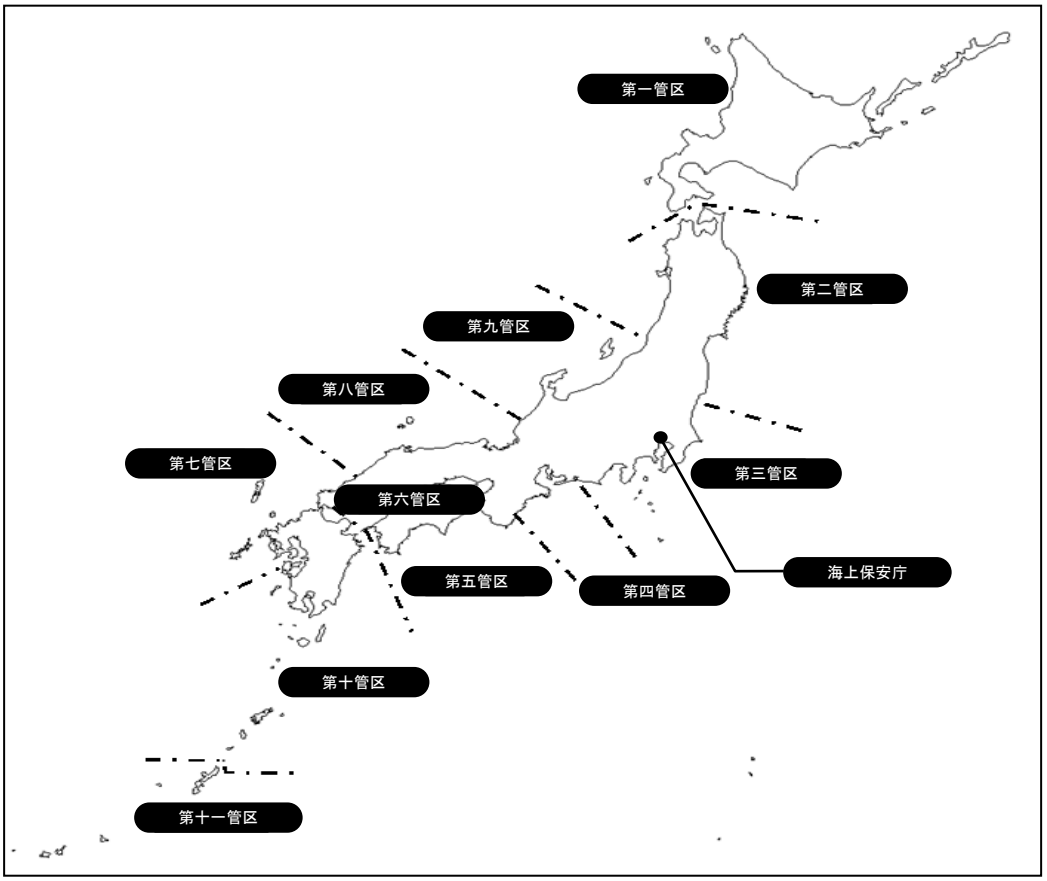
〈設置完了〉

Ⅳ. 管区海上保安本部等別配分額

［直轄事業］

区　　分	事業箇所数（箇所）	船舶交通安全基盤整備事業（百万円）	対前年度倍率
海上保安庁	1	6,258	1.228
第一管区海上保安本部	37	1,018	0.839
第二管区海上保安本部	39	832	1.108
第三管区海上保安本部	37	2,774	0.861
第四管区海上保安本部	27	784	0.952
第五管区海上保安本部	52	2,224	0.977
第六管区海上保安本部	67	2,310	0.911
第七管区海上保安本部	35	2,974	0.931
第八管区海上保安本部	35	995	1.108
第九管区海上保安本部	30	622	0.986
第十管区海上保安本部	45	1,664	1.455
第十一管区海上保安本部	24	1,917	0.902
合　　計	429	24,372	1.019

※端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。



Ⅴ．配分箇所の具体事例

１．国民の安全・安心の確保

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
		百万円	
香川県 （綾歌郡等）	備讃瀬戸南航路 船舶交通安全基盤整備事業	717	船舶交通の安全を確保するとともに、海上輸送による人流・物流の途絶を防止するため、航路標識への国土強靱化対策を実施する。
鹿児島県 （鹿児島市）	鹿児島港 船舶交通安全基盤整備事業	494	海上保安能力の強化に伴い、鹿児島港の巡視船等基地の維持管理を実施する。